

令和6年度 いわき市立平第六小学校 経営・運営ビジョン

◇教育先進都市“いわき”の実現◇

求める子どもの姿（資質・能力）
ICTを適切かつ効率的に活用し
主体的に問題を見つめ、解決したり
自分の考えを形成したりできる子

【確かな学力】

よく考える子ども 確かな学力を身につけ学び合う子ども

- 見通しをもって粘り強く学習に向かうことができる。
- 自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
- 相手の考え方を尊重し、理解しようとして聞くことができる。
- 学びを振り返り、次の学習につなげることができる。

<実践内容>

1 きめ細やかな指導で学習内容を定着させます。

- ・「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業の充実
- ・ICTを活用した授業の充実（デジタル教科書、タブレット端末）
- ・“振り返りの時間”的確保と“補充・発展・繰り返し学習”的充実（ショートテスト、タブレット端末等の活用）
- ・パワーアップタイムの活用

2 思考・判断・表現力を向上させます。

- ・話し合い活動の工夫（根拠を明確にして話す、意図を考えながら聞く）
- ・活用力を育てる場の工夫（学習課題・学習過程の工夫、活用力育成シート・ドリル等の活用）
- ・言語活動の場面設定の工夫
- ・読書活動の充実（図書館司書との連携、読書タイム、読み聞かせ、ベストリーダー賞、家庭読書の推進、六小の日の活用）

3 家庭学習の習慣化を図ります。

- ・家庭学習の課題の工夫（授業とのリンク、個別応じた課題、自主学習）
- ・家庭との連携（家庭学習カードの活用）
- ・自己マネジメント力の育成（家庭学習の手引きの活用、内容の紹介や称賛）
- ・タブレットの活用

<評価・チェック項目>

◇ 学習内容が定着している。

- ・単元テスト、NRT（国語科、算数科）
- ・「授業スタンダード」チェックシート（学期1回）、ABCシート
- ◇ 自分の考え方をもち、相手に分かるように書いたり話したり、相手の話を集中して聞いたりすることができる。
- ・ノートの提出、授業の中での観察
- ◇ 進んで読書に取り組んでいる。
- ・読書カード
- ・図書の貸し出し数
- ◇ 家庭学習に自主的に取り組んでいる。（学年×10分+20分）
- ・家庭学習カードへの記入（毎日記入、月や学期ごとの反省）
- ・提出物の確認
- ・ミライシードによる学習状況確認

【教育目標】

ゆたかな心とたくましく生きる強い意志とかしこい知恵をもつ子ども
よく考える子ども・思いやりのある子ども・健康な子ども

◇大切にしたい基本姿勢◇

- 子どもの命（心と体）を守る安全な学校
- 認め合う・支え合う・高め合う児童・教職員
- 家庭・地域とつながる学校
- 主体的・対話的で深い学びを実現する学校

【豊かな人間性】

思いやりのある子ども 規律を守り、互いのよさを認め合う子ども

- 時と場に応じたさわやかなあいさつができる。
- ルールを守ってみんなのために奉仕することができる。
- 相手の気持ちを考え、思いやりをもって接することができる。
- めあてをもって最後までやり抜くことができる。

そのために、このような手立てをとります

<実践内容>

1 道徳科・特別活動を核とした道徳教育の充実を図ります。

- ・「考え、議論する道徳」の充実と重点価値の設定
(節度・節制、親切・思いやり、規則の尊重、生命の尊さ)
- ・地域を生かした体験活動における道徳的実践の充実

2 自分を生かし、互いを認め合う集団活動を充実させます。

- ・学級や異年齢集団での主体的な活動の充実
- ・生徒指導の機能を生かした活動の充実
(自己決定の場、自己存在感、共感的な人間関係)
- ・交流及び共同学習（校内・校外）の継続と充実

3 規律ある態度を育成します。

- ・「けじめのある生活、礼儀正しく接する、約束やきまりを守る」の意識化と実践（家庭との連携）
- ・オアシス運動の励行（会釈等を含む、気持ちのよい挨拶）

<評価・チェック項目>

◇ 体験活動などを通して、温かい交流をすることができている。

- ・感想文や日記、記録文、写真記録やホームページの様子、お礼の言葉やお礼状などから

◇ 自他を理解し認め合い、誰とでも協力することができている。

- ・縦割り班の様子、委員会活動やクラブ活動の様子、振り返りシート、学校アンケート等から

◇ 進んであいさつし、決まりを守って生活することができている。

- ・振り返りシート、学校アンケート、帰りの会の振り返り等から

<学校・家庭・地域が一体となった教育の実現>

【よきパートナー】 家庭・関係機関「学校への熱い想い」

- 学校からの情報発信、家庭との連携・協力に努めます。
→ 学校評価アンケート（11月）、学校だより、学年だより、HP
- 授業公開や教育相談の充実に努めます。
→ 家庭訪問（5月・随時）、個別懇談（11月・随時）
授業参観（年3回）、学校へ行こう週間
- 家庭と連携し、生活・学習習慣づくりを進めます。

【和と協働】 教職員「最大の教育環境は教師」

- 教師の同僚性を構築し、指導力の向上を図ります。
- 教育専門職としての使命感・重責を自覚し研修に励みます。
- 伸びや頑張りをほめ認めて、児童の向上心を育みます。
- 教師・子ども・保護者が互いに支え合う学級づくりに努めます。
- 教育相談の充実に努め、積極的な生徒指導を推進します。
- 「平六小は今年も不祥事ゼロ」の継続に全力で立ち向かいます。

【地域に輝く六小の子】 地域・学区「地域があり学校がある」

- 子どもたちの活動に地域の教育力を積極的に取り入れます。
→ 地域素材（自然・歴史）・人材の活用（万本桜・森林環境学習）
- 地域と協力して子どもの安全を守ります。
→ 交通安全協会や交通安全母の会、見守り隊等との連携
- 中学校や幼稚園等との教育連携を密にします。
→ 小中連携、いわき支援学校、幼稚園との交流